

第17期(2017/1/1~2017/12/31)営業報告
及び
第18期(2018/1/1~2018/12/31)経営方針

2018年3月16日
株式会社ebs

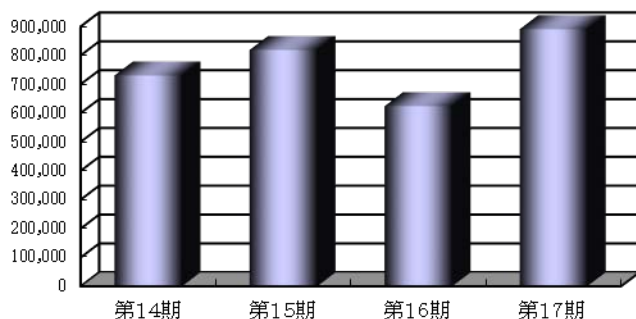
● 営業実績・推移

第17期において、前期に継続し単年度黒字化を達成、株主様への配当を実施いたしました。

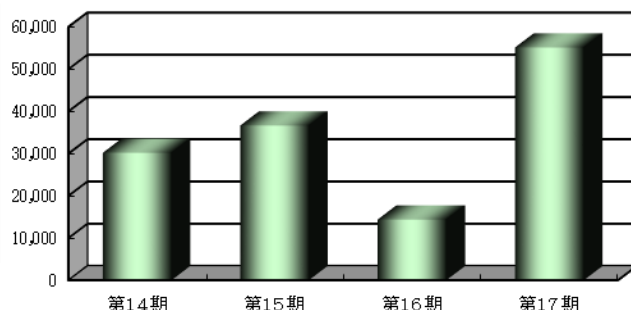
(単位 千円)

部門	年度	第14期 自 2014/1/1 至 2014/12/31	第15期 自 2015/1/1 至 2015/12/31	第16期 自 2016/1/1 至 2016/12/31	第17期 自 2017/1/1 至 2017/12/31
売上高		730,050	818,495	623,865	890,380
経常利益		30,175	36,619	14,358	55,103
当期純利益		19,629	23,484	9,905	38,187
1単元株当り当期純利益		21.68	25.94	10.96	42.24
1単元株当り純資産額		177.2	183.5	190.2	230.9
総資産額		387,248	387,182	452,266	536,898
純資産額		160,377	166,147	171,945	208,719
発行済株式数		9,084株	9,084株	9,084株	9,084株

(注) 1単元は10株。第17期末時点の単元株個数は904個。第15～17期末時点の発行済株式数には自己株式数800株を含む。



売上高推移



経常利益推移

● 活動概況

- 2017/ 2 ソフトバンク様が構築する某情報系プロジェクトのアプリケーション開発に参画
- 2017/ 6 某銀行様の初回API開発実績及びFinTechの知見を評価いただき、別業務のAPI及び関連アプリの開発案件を受注
- 2017/ 8 開発に参画しておりますレンディング案件において、API開発を受注
- 2017/ 8 画面開発の生産性向上に直結し、マルチブラウザ/デバイスに対応する軽量な開発ツール「eSCOFI-UX」の開発に着手
- 2017/ 9 融資業務のみ提供しておりました「eSCOFI」に、新たに普通預金(目的別預金含む)をリリース、今後は定期性預金機能(定期積立含む)をリリース予定
- 2017/11 約10年ぶりに応接室や会議室の改装、業務効率及び生産性向上のため開発センターと本社間の壁を撤去するなど大幅なレイアウトの見直しを実施
- 2017/12 NTTデータシステム技術様より某生保様プロジェクトのシステム開発及び本稼働について、当社の貢献を評価いただき、感謝状を授与

ほか

● 営業目標 (2018年1月1日～2018年12月31日)

- 売上目標 127,600万円 前期比 + 43%
- 営業利益目標 14,800万円 前期比 + 173%
- 社員数 70名 前期比 + 27%

(注) 社員数は、期末時点の常勤従業員数であり、契約社員、受入出向者等は含みません。

● 事業方針－今期の取り組み

● 内部統制の強化

コンプライアンスにかかる活動の実践といたしましては、プライバシーマークの更新申請、およびISMSの更新審査の合格を得て一定の成果を残すことができました。また、衛生委員会の運営、弁護士や社会保険労務士との顧問契約の維持によるリーガル面での体制強化などを通してコンプライアンスの向上を図ってまいりました。

来期も引き続きこれらの適切な運用に努めることにより、更なるコンプライアンスの向上に取り組んでまいります。

● 中期経営計画について

来期を迎えるにあたりまして、第五次中期経営計画(2018～2020)を策定いたしました。その中期ビジョンとして、①「堅実な経営目標を立て、業界有数の「強小企業」を目指す」②「CoreBankingベースのFinTech企業として「The one and only!」を目指す」③「R&Dを強化し知的権確保及びPKG・Solution化を推進、優位性を高める」の3点を掲げました。

来期もIT業界を取り巻く環境は依然として厳しいものとの認識ですが、第四次中期計画達成の為には、eSCOFI(Ver.3.0、クラウド版を含む)、eSCOFI-ATLASを軸としたパッケージ販売に加え、FinTech活用等による新規ビジネスモデルの創出を含めたソリューション事業の成長が大きな鍵であり、引き続き内部体制の強化に努めるとともに社外の有識者、支援者の協力も得て、目標の実現に邁進する所存であります。

また、大手のSier様やコンサルファーム様、エンド・ユーザ様との連携、深耕も積極的に行い、開発案件の確保に努めるとともに、新たな人材の採用により外注依存度を下げ、利益水準を底上げし初年度の目標を達成すべく全社一丸となって取り組んでまいります。

人材投資、開発投資、営業開拓の何れにおいても経営資源の選択と集中を行い、スピード感をもって柔軟な組織運営にあたり、利益創出型の「強小企業」となるとともに、CoreBankingベースのFinTech企業としての「The one and only!」を目指してまいります。

● 組織・体制について

来期の組織体制としては、FinTechソリューションの探索およびソリューション化、知財権確保活動を推進することから研究開発部を新設。また、M&AやIPO、各種アライアンス等を含めた戦略企画・検討・推進を担う戦略企画推進担当を業務推進部内に配置します。

● 第18期体制について

組織図

